

7月市議会に予算計上か

# なぜ急ぐのか

# 施設一体小中一貫校

トリベール和泉のはつが野に4年後の17年4月施設一体型小中一貫校が新設されようとしています。これに対して多くの保護者・市民・学校教職員のみなさんから様々な疑問や不安の声がよせられています。しかし、和泉市教委は6月の市長選後の7月市議会に施設一体型一貫校

の建設に向けた予算を計上しようとしています。

施設一体型小中一貫校の建設に当たっては、市教委は保護者・市民・学校教職員と十分に話し合い理解をえることが必要なのではないのでしょうか。

## 疑問・問題・不安が続出 市教委は十分な話し合いを

### 狭い敷地に小1から中3まで プールも体育館も1つ

### 品川の小中一貫校で何が起きているのか

17学級の光明台中より狭い敷地に30学級の一貫校

		普通学級	支援学級	計	学校敷地面積
新設小中一貫校	小学校	18	2	30	25,000㎡
	中学校	9	1		
光明台中学校		15	2	17	27,000㎡

和泉市教委の議会への説明資料、光明台中学校ホームページより作成

光明台中学校より大規模にもかかわらず新設の小中一貫校は狭い敷地につくられます。プールも体育館も一つです。和泉市教委事務局は教育委員に「プールや体育館は一つで、光熱水費は安くなります。」「体育館は、若干大きめで小中一緒に授業できるようにと考えています。プールについても紫外線対策や深さの問題を考慮してこれから考えていきます。」(平成25年和泉市教育委員会第2回定例会議事録)と説明しています。確かに施設一体小中一貫校は経費削減のメリットはあるようですが、子どもたちは、施設面でかなりのしわ寄せを受けると言わざるをえません。

全国に先駆けて7年前の06年4月、東京・品川区に施設一体型の小中一貫校ができました。以来、この7年間で品川区

には、6つの施設一体型の小中一貫校ができました。その品川の一貫校で何が起きているのでしょうか。

### 昨年同一校で自殺2件連続

### 保護者・教職員から疑問・不安の声

品川の中1自殺半年文語る  
調査頼む私学校の敵に

6年前に開校された東京・品川区の施設一体型の小中一貫校では、昨年、2月に小6女子が自殺し、続いて9月にも中1男子がいじめを苦に自殺しました。「中1ギャップ」のまさに該当学年で自殺が連続するという一貫教育の目的とは全く逆行する異常な事態です。

朝日新聞3月30日付

- ・運動会は9学年が一緒にやるので、待つ時間が多く、一人当たりの出場する種目が少ない。
- ・校長が朝礼で中学生向けの話をする。小学生にとってはむずかしい。
- ・生活規律が小中一緒。小学生の女子に短いスカートがいけないというのは、おかしい。
- ・5、6年は最上級生として下の学年の面倒をみていたが、その役割が全て9年生の役割

になって、5、6年生は宙ぶらりんになっている。  
・教科担任制で、教室に担任の机がなくなり、担任が教室にいない。子どもは問題が起きたとき誰に頼ったらいいのかわからない。教員の方も誰が対処するかはつきりしない。トラブルがしょっちゅうおこっている。保護者からの苦情も多い。  
佐貫浩著『品川の学校で何が起きているのか』より